

建設産業担い手確保・育成コンソーシアムについて

コンソーシアムの趣旨

- 建設産業団体、関係行政機関、職業訓練校、教育機関等の関係機関が一体となって、建設産業における担い手確保・育成に取り組んでいくための体制を整備し、若年者の入職促進、育成のための事業を具体化し、実行することを目的として設置
- コンソーシアムのメンバーは、建設産業の担い手確保・育成について、実績、知見、能力を有し、今後の担い手確保・育成を推進していく意志を有する者により構成

アクションプログラム(第1版)について

コンソーシアムにおける活動については、アクションプログラムを策定し、計画的かつ効果的に展開

アクションプログラム(第1版)の枠組み

- 本コンソーシアムの事業推進に当たっては、建設業振興基金に設置された「担い手育成基盤整備基金(ソフト事業分)」を活用し、設立から概ね5年間を目途に活動
- 担い手不足が特に懸念される野丁場系の技能者に当面の重点
- 本コンソーシアム及び富士教育訓練センターが中核的機能を担いつつ、全国的な教育訓練体系を構築

平成26年度下半期～平成27年度にかけて、以下に掲げる事業を順次、実施

(1) 地域連携ネットワーク等担い手確保・育成のためのネットワーク構築

個社を超えて、地域の関係者が一体となって教育訓練体系を構築することを目指し、地域連携ネットワークの形成に有益な情報を調査・取りまとめ提供するとともに、先進的な取り組みを支援

〈支援対象件数〉

- 平成26年度下半期:5件程度
- 平成27年度:上記に加え10件程度(各ブロック1～2件程度)

(2) 教育訓練等基盤の充実・強化

充実した教育訓練の実践、教育訓練をはじめとした担い手確保・育成に資する提案、担い手確保・育成のための広報等について、教育訓練の実践的な役割を担う富士教育訓練センターと連携を図りつつ、教育訓練体系の構築に向け中核的な役割を果たすため、以下の事業を実施

① プログラム・教材等の整備

- 当面、入職前の若年者や初任者及び入職後2～5年目に必要なプログラム・教材等、現状について検証を行いつつ、所要の整備

② 講師の発掘・育成

- 各職業訓練校等における講師候補者や、地域連携ネットワークが取り組む活動をサポートする講師候補者等の発掘・育成を支援

③ 担い手確保・育成に関する情報収集及び提案

- 建設産業団体等の関係機関や有識者の持つ経験、情報、知見を集約するとともに本コンソーシアムの活動を通じて得られた成果等をも踏まえつつ、担い手確保・育成に資する提案

④ 若年者の入職促進に向けた戦略的広報の推進

- 建設産業への理解の促進と魅力の発信を図るため、建設産業人材確保・育成推進協議会(建設産業戦略的広報推進協議会)と連携して事業を推進

(3) 職業訓練校ネットワークの構築

富士教育訓練センターと連携可能な各地域の職業訓練校間の情報交換、相互協力、その他共同事業の展開等

- 本コンソーシアムの目的を共有する職業訓練校についての職業訓練校DBを構築
- 上記、職業訓練校間の情報交換や相互協力を行うための「建設関連職業訓練校等連絡会議(仮称)」を立ち上げ